

La France à Kyoto – domaine du théâtre
京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター主催
『京都におけるフランス演劇月間』

関連企画

公開講座
『テクストと身体—渡邊守章の仕事』(映像とトーク)

無料 ※要事前申込
京都造形芸術大学 映像ホール

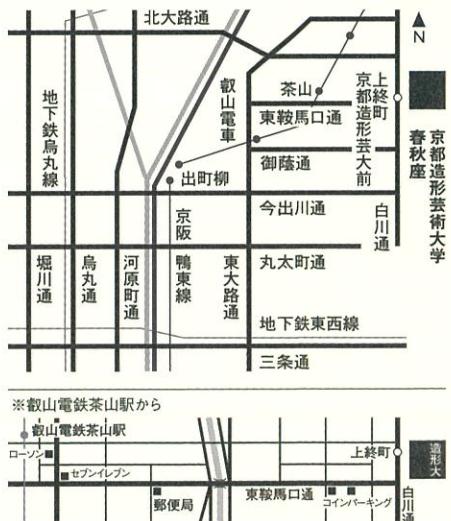
6月9日(火) 16時30分開演
ジャン・ラシーヌ作『悲劇フェードル』
ラシーヌ没後300年記念公演 空中庭園制作 パリ日本文化会館、1999年
ゲスト：後藤加代(俳優)

7月7日(火) 16時30分開演
アルフレッド・ド・ミュッセ作『ロレンザッショ』
銀座セゾン劇場、1993年
ゲスト：服部基(あかり組代表、照明家)

6月23日(火) 17時開演
渡邊守章による大学院公開講座
『「古典と伝統」一日仏間の舞台芸術の受容について』(映像とトーク)
無料 ※要事前申込
京都造形芸術大学 映像ホール
(映像は渡邊演出のラシーヌ『アンドロマック』、ロスタン『シラノ・ド・ベルジュラック』等)

■有料公演
『神の曲芸師』『プラスティッド』

チケット取り扱い
京都芸術劇場チケットセンター Tel. 075-791-8240 (平日 10:00-17:00)
劇場オンラインチケットストア ※要オンライン会員登録(無料)
※学生・ユースチケットのオンラインでの取り扱いはございません
<http://www.k-pac.org/> (PC)
<http://www.k-pac.org/theatre/m/m> (携帯)



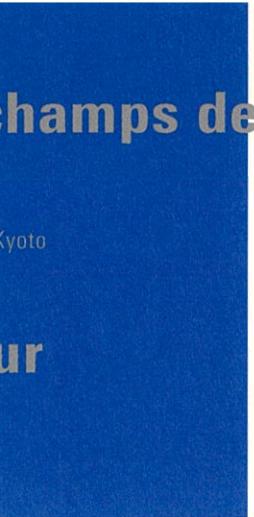
京都芸術劇場 春秋座 (京都造形芸術大学内)
〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

会場アクセス
■JR・近鉄「京都」駅、京阪「三条」駅、阪急「河原町」駅から
→京都市バス5番「岩倉」行き乗車。
「上終町・京都造形芸大前」下車
(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から30分)
■京都市営地下鉄「丸太町」「北大路」駅から
→京都市バス204循環に乗車、「上終町・京都造形芸大前」下車
(約20分)
■京阪電鉄「出町柳」駅から
→叡山電鉄に乗り換え、「茶山」駅下車徒歩10分

※駐車場はございませんので、お車・バイクでの
ご来場はご遠慮ください。

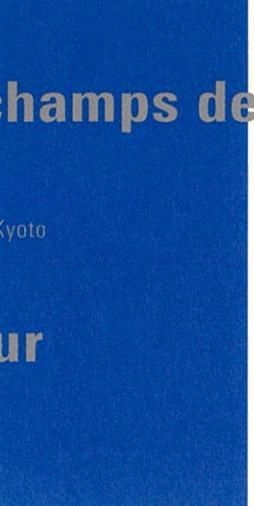
**Avignon
Cour d'honneur et champs de bataille**

Projection et rencontre avec Bernard Faivre d'Archier
Présentation: Moriaki Watanabe
Vendredi 26 juin, 18h00
Espace image de l'Université des arts et du design de Kyoto



**La Comédie-Française présente
Saint François, le divin jongleur**

de Dario Fo
avec Guillaume Gallienne, sociétaire de la Comédie-Française
mise en scène: Claude Mathieu
Mardi 30 juin, 18h30
Studio21 de l'Université des arts et du design de Kyoto



Anéantis

de Sarah Kane
mise en scène: Daniel Jeanneteau,
avec Kazunori Abe, Kouichi Ohtaka, Asuka Fuse
Samedi 11 juillet, 14h00
Shunju-za de l'Université des arts et du design de Kyoto

La France à Kyoto – domaine du théâtre

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター主催

『京都におけるフランス演劇月間』

『アヴィニヨン演劇祭の60年』上映会

講師: ベルナール・フェーヴル=ダルシエ
(アヴィニヨン演劇祭元芸術監督)
渡邊守章
(京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター所長)

2009年6月26日(金) 開演 18時
京都造形芸術大学 映像ホール

コメディ=フランセーズ・プレゼンツ
『神の曲芸師』
作: ダリオ・フォー
演出: クロード・マチュー
出演: ギヨーム・ガリエンヌ
(コメディ=フランセーズ正座員)

2009年6月30日(火) 開演 18時30分
京都芸術劇場 studio 21

『プラスティッド』
作: サラ・ケイン
演出: ダニエル・ジャンヌト
出演: 阿部一徳、大高浩一、布施安寿香
企画・製作: SPAC - 静岡県舞台芸術センター

2009年7月11日(土) 開演 14時
京都芸術劇場 春秋座

今日、外国の演劇やダンスの来日公演は日常的に行われています。
けれども、それぞれの国や地域の伝統と現在を総体的に見直す機会は、
日本にいる限り、なかなか持つことができません。

この度、舞台芸術研究センターでは、多くの関係諸機関のご協力を得て、
「京都におけるフランス演劇月間」を開催することになりました。

フランス演劇は、いうまでもなく、17世紀の「古典主義」や
コメディ=フランセーズの発足以来、ヨーロッパの舞台芸術における
最も重要な伝統の核のひとつを形成しています。

この企画では、実際の舞台上演や映像上映、レクチャーなどを通じて、
フランス演劇の過去・現在・未来の多角的な検証を試みます。
この機会をどうぞお見逃しなく。

舞台芸術研究センター所長 渡邊守章



la Cour d'Honneur du Palais des Papes

Christophe Raynaud Delage pour le Festival d'Avignon

『アヴィニヨン演劇祭の60年』上映会

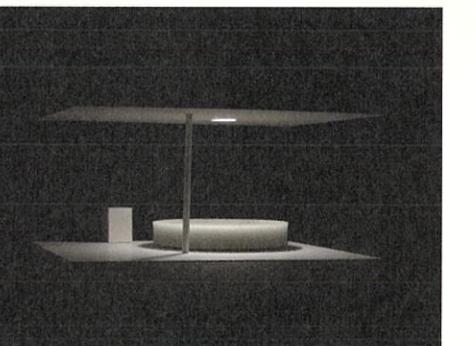
講師：ベルナール・フェーブル＝ダルシエ（アヴィニヨン演劇祭元芸術監督）
渡邊守章（京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター所長）

2009年6月26日(金) 開演18時
京都造形芸術大学 映像ホール
入場無料 ※要事前申込

Avignon Cour d'honneur et champs de bataille

Projection et rencontre avec Bernard Faivre d' Archier
Présentation: Moriai Watanabe

Vendredi 26 juin, 18h00
Espace image de l' Université des arts et du design de Kyoto
Entrée libre



破壊され尽くした世界。

しかもなお、崩壊することを止めようとしているこの世界。

レイプとカニバリズムの描写で一大スキャンダルとなったサラ・ケインの代表作『プラスティッド』は、この世の悲惨さも根こそぎ破壊しつくし、それでも残る、〈愛〉の可能性をめぐって、静かに大地を濡らす慈雨のように、そっと私たちに向かって問いかけてくる。

イギリスの高級ホテルの一室にやってくる中年のジャーナリスト、イアンと連れの若い女性ケイト。

暴力だけが唯一の対話であるかのような二人の世界が、やがて爆風とともに一変し、おびただしい灰と瓦礫の中に埋もれてゆく。

舞台美術家としても著名な演出家ダニエル・ジャンヌトーは、現代の古典ともなりつつあるこの作品を、洗練された舞台装置と綿密な解釈で2005年に演出し、「ル・モンド紙」などで絶賛を浴びている。

※劇中、過激な暴力描写がありますので、あらかじめご了承下さい。

『プラスティッド』

作：サラ・ケイン
演出：ダニエル・ジャンヌトー
出演：阿部一徳、大高浩一、布施安寿香
企画・製作：SPAC 静岡県舞台芸術センター

2009年7月11日(土) 開演14時
京都芸術劇場 春秋座

一般 3500円
学生・ユース 1500円
京都芸術劇場友の会 3000円
発売日 2009年5月18日(月) 全席指定

Anéantis

de Sarah Kane
mise en scène: Daniel Jeanneteau,
avec Kazunori Abe, Kouichi Ohtaka, Asuka Fuse

Samedi 11 juillet, 14h00
Shunju-za
de l'Université des arts et du design de Kyoto
Adultes: 3500yen
Etudiants ou moins de 25 ans: 1500yen
Adhérents: 3000yen

サラ・ケイン Sarah Kane

イギリスの劇作家・演出家。

1971年、ロンドン近郊に生まれる。ジャーナリストで敬虔なプロテスタントであった両親の影響で、少女時代には熱心なキリスト教徒だったが、やがて信仰を拒絶するようになる。1992年にブリストル大学演劇科を首席で卒業したのち、バーミンガム大学で劇作の修士号を取得。在学中に執筆し、未完のまま上演した『プラスティッド』がプロデューサーの目にとまり、1995年にロイヤル・コート・シアター小劇場で劇作家として衝撃的なデビューを飾ることになる。『プラスティッド』の強烈な暴力表現と性描写はタブロイド紙でスキャンダラスに取り上げられた一方、ノーベル賞作家ハロルド・ピンターに激賞された。その後の4年間で戯曲4作（『フェイドラの恋』、『浄化されて』、『渴望』、『4時48分サイコシス』）、短編映画1作（『スキン』）を残し、1999年に鬱病で自殺。

これらの作品は、彼女の死と前後して、フランスやドイツをはじめとする世界各地の重要な演出家によって、競うように上演されるようになる。ダニエル・ジャンヌトーによれば、『プラスティッド』に登場する兵士は、愛とは何かを教えるためにやってきた天使のような存在だという。この言葉は、極限の愛を描きつづけて短い生涯を終えたサラ・ケイン自身にも当てはまるかも知れない。

ダニエル・ジャンヌトー Daniel Jeanneteau

フランスの演出家・舞台美術家。

1963年、モゼル県（フランス北東部）生まれ。2008年より、フレデリック・フィスバッカの後をうけてステュディオ・テアトル・ド・ヴィトリーのディレクター。ストラスブル装飾芸術学校を卒業後、ストラスブル国立劇場付属学校で演劇を学ぶ。1989年、フランスを代表する演出家の一人クロード・レジーと出会い、以降レジー作品（デュラス、メーテルランク、ヨン・フォッセ、サラ・ケイン）の舞台美術を15年間に渡って担当し、ジャン=クロード・ガロッタ、トリシャ・ブラウンなどの振付家の舞台美術も手がける。2001年にラシーヌ『イフィジエニ』（ブルターニュ国立演劇センター）で演出家としてデビュー。2005年、『プラスティッド』をストラスブル国立劇場で上演。他の代表作にストリンドベリ『幽霊ソナタ』、ブルガーコフ『アダムとイブ』など。昨年のアヴィニヨン演劇祭公式プログラムでは、シュトラーム『火』を発表した。

Elisabeth Carecchio



コメディ=フランセーズ・プレゼンツ

『神の曲芸師』

作：ダリオ・フォー
演出：クロード・マチュー
出演：ギヨーム・ガリエンヌ（コメディ=フランセーズ正座員）

2009年6月30日(火) 開演18時30分
京都芸術劇場 studio 21

一般 前売 2500円
学生・ユース 前売 1500円
京都芸術劇場友の会 前売 2000円
※当日はすべてプラス 500円
発売日 2009年5月18日(月) 全席自由／字幕あり

La Comédie-Française présente

Saint François, le divin jongleur

de Dario Fo
avec Guillaume Gallienne, sociétaire de la Comédie-Française
mise en scène: Claude Mathieu

Mardi 30 juin, 18h30
Studio21 de l' Université des arts et du design de Kyoto
Adultes: pré-vente 2500yen, sur place 3000yen
Etudiants ou moins de 25 ans: pré-vente 1500yen, sur place 2000yen
Adhérents: pré-vente 2000yen, sur place 2500yen

無礼な言動はすぐさま火刑場ゆき。

そんな13世紀イタリアにおいて、自由で、信念の男フランチェスコは、みすぼらしい仲間たちと共にウンブリア州を経巡る。
その道中に、彼は数々の教会を再生させ、狼と交渉し、鳥たちに話しかけ、下品な言葉で福音書を語ってみせる。陽気さとからかいでもって、
アッショのフランチェスコは野次馬たちを惹きつけ、彼らを楽しませ、感動させながら、金銭や権力、人心操作、苦悩、そして戦争を告発してゆく。
政治的かつ民衆的な演劇の最重要人物の一人として知られるダリオ・フォーは、「中世の道化師たちの伝統において、権力を糾弾し、
恥辱を受けた人々の尊厳を回復させた」ことで、1997年にはノーベル文学賞を受賞しました。
コメディ=フランセーズの奔放な想像力が、この滑稽で奥深いテキストを鮮やかに演出します。

協賛：

L'INSTITUT

関西日仏学院

INSTITUT
FRANCO-JAPONAIS
DU KANSAI

Villa Kujoyama

協力：日仏演劇協会